

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

予想外に若く、30 前後。非常にフレンドリーで緊張感はまったくなかった。私としては、発音も聞き取りやすく、ラッキーでした。

2. 通訳ガイド

40 歳前後。口数は少なかったが、笑顔で対応していただいた。いわゆる普通の方でした。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

隅田川の花火大会について、正直メモ取りに夢中になり前半部分が真っ白になってしまいました。8~9月に行なわれること、屋形船も出て人がくり出すこと。

《自分の解答》

8月~9月にかけて行なわれること、正直言って、前半部分が真っ白となり、隅田川の花火大会が毎年恒例で行なわれ、花火大会中は川に屋形船が出てにぎわうこと、江戸時代から伝わっていることを言うのが精一杯でした。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① ジングスカン
- ② 民泊
- ③ ?

《選択したトピック》

『民泊』

《発表した内容》

京都を題材にして、現状ホテル・旅館が不足していること。料金的にリーズナブルに、家庭的な雰囲気をもつ民泊が見直されていること。民泊とはずれるが、富久屋という私が懇意にしている旅館を For Example としてかなり詳細に話す。これには、よく2人ともうなずいてくれました。

5. 質疑応答について

NS	京都であなたのおすすめの民泊はあるか？
I	これが富久屋という旅館を例で話す
NS	もう一つの質問は意外だったのだが、輪足が静岡出身であったため、静岡でのおす

I	すめの場所を聞かれました。 三保の松原と本栖湖の富士の眺望の良さを話しました。
---	--

6. 試験を終えての感想

最初の通訳試験がメモ取りに夢中になり前半が真っ白になってしまって、ショックとあせりで気落ちしそうになりました。

プレゼンの民泊については、京都の旅館について実際に経験したことをまとめておいて、準備もしていたため、話は民泊とはずれるが、会話になったと思います。前半の真っ白になってしまったことが残念でした。